



特徴

- al-8をホールやスタジアムなどの固定設備向けにブラッシュアップ
- V6 System engine 1台でal-8Sスタジアムアレイ エレメントを4台までドライブ
- SystemVUE™ネットワークを内蔵
- 1基のドライバーにal-8Sエレメントを16台懸架可能
- オプションとしてフライング・キット、運搬用のアクセサリ

説明

al-8S コンパクトラインアレイシステムは、高性能なal-8をベースにVUEの最新技術と革新的なデザインを固定設備用途にブラッシュアップされたシステムです。al-8同様、ジャンルを選ばない多用途性と優れたサウンドパフォーマンスを実現しています。

al-8Sは、効率の良いコンプレッションドライバーやケーブルコーン/ネオジウムLFドライバー、そしてDSPなどVUEの持つ高度なテクノロジーと制御ソフトSystemVUEなどにより、音響現場の主軸として幅広い用途に最高のパフォーマンスを提供することができます。

al-8Sラインアレイシステムは、al-8SエレメントとV6 System engineで構成されています。V6は、洗練されたDSPアーキテクチャと、最大4台のal-8Sエレメントを3wayでドライブするのに十分なアンプパワーを持っています。さらに、SystemVUEネットワーク機能により、直感的なSystemVUEソフトウェアを介してリモート管理とコントロールが可能なネットワークを簡単に組み立てることができます。

1台のV6 System EngineはChあたり2台のal-8Sエレメントをドライブすることができます。複数のV6 System Engineとal-8Sエレメントを組合せる事によって大規模なシステムの構築もできます。

al-8Sはより低域を必要とする用途に対して、VUEの全てのサブウーファーに対応しています。

また、フライングやグラウンドスタッキングも可能です。

al-8Sラインアレイシステムは、洗練されたDSPアーキテクチャを採用しており、「トランスデューサー、アンプ、キャビネットからSystemVUEソフトウェアに至るまで」各コンポーネントが調和を保ち、正確なコントロールと簡単な操作を可能にしています。V6 system Engineにはal-8Sのためのプリセットライブラリーがインストールされているので、オペレーターの仕事は、アレイを組立て、SystemVUEソフトウェアから必要なプリセットを選択し、調整するだけです。EQなどの調整は最小限に抑えられオペレーターはミックスの作業に集中する事ができます。

デザインノート

al-8S ラインアレイ エLEMENTには、VUEがal-8Sのために特別に設計したトランスデューサーを搭載しています。専用設計された8インチの低域用トランスデューサーがペアで、ミッドレンジ用に4インチのケブラー加工されたネオジウムドライバーが4台配置されています。ミッドレンジユニットには、VUE独自のラテラル・アコースティック・シェード・モジュールが搭載されており、ドライバーを音響的に「ずらす」ことで、ウーファーの指向性を最適化し、動作範囲の上限での指向性を最適化することでカバーエリア全体でのトランジションを実現します

al-8Sの高音域セクションには、1インチ口径のネオジウムコンプレッションドライバーが採用されています。このドライバーにはウェーブガイドがマウントされており、トランスデューサー同士の指向干渉を低減させ理想的な音響特性を実現しています。

al-8Sのエンクロージャーは、12層のデュラコートペインティングで処理された強靱なバーチ合板で制作されています。al-8と共通のフライバーは、1基あたり16台のal-8S ELEMENTを連結して使用できます。リアのI/OパネルにはNL-8が2つ装備され、デ이지チェーン接続を簡単に行うことができます。また、リギングオプションにより、フライングとグラウンドスタッキングが可能です。



SystemVUE ネットワーク

VUEDrive V6 システムエンジンには、標準でネットワークおよびリモート管理機能が付属しています。拡張されたネットワークを簡単に組み立て、直感的なsystemVUEソフトウェアを介してネットワーク上の各要素やデバイスに簡単にアクセスすることができます。

フロントとリアパネルのイーサネットポートは標準のIPネットワークとの互換性を持っています。プラグインするだけで、製品が自動的に認識されDHCPベースのネットワーク、固定IPネットワークまたは無線ルーターを介したWi-Fi 接続に対応しています。

V6は、フロントパネルにイーサネットの「Input」を、リアパネルに「Input」と「roop」が用意されています。

ループオプションを使用すると、システムスイッチを個別に実行せずに追加デバイスをネットワーク上にデジチチェーン接続することができます。



SYSTEMVUE
SOFTWARE
MONITORING AND CONTROL

ネットワークの信頼性を確保するために、V6のイーサネットポートは切断を検知し、ローカル障害が発生した場合、自動的にパススルーに切り替わります。これにより単独の機器に障害が発生してもネットワーク自体は機能し続けます。

SystemVUEソフトウェアは、スピーカー保護、入出力レベルボリーム、ミュート、ディレイ、ディレイ、さらには入力ソースの切替などの重要なパラメータ調整するために、個々のデバイスだけでなく、ネットワーク全体にアクセスすることができます。また、ユーザーはal-8Sを様々な環境にマッチさせるためにSystemVUEソフトウェアを介して、V6 System Engineをカスタマイズしたり、ユニットをアップデートしたりすることができます。



ドライブシステム

V6 SYSTEM ENGINE

- LF 2500W×2、MF 800W×2、HF 800W×2の出力
- 64bit DSPによるスピーカーマネジメントシステム搭載
- 118dBのダイナミック・レンジ
- INPUTディレイ (各チャンネル最大2秒)
- ユーザーインターフェイスのためのLCDディスプレイ
- Mac、PC、iOSに対応の制御ソフトSystemVUE
- 最大入力レベル+23 dBu
- レイテンシー < 1ms (標準640マイクロ秒)
- 消費電力 13.8A
- コンパクトな2Uラックマウント

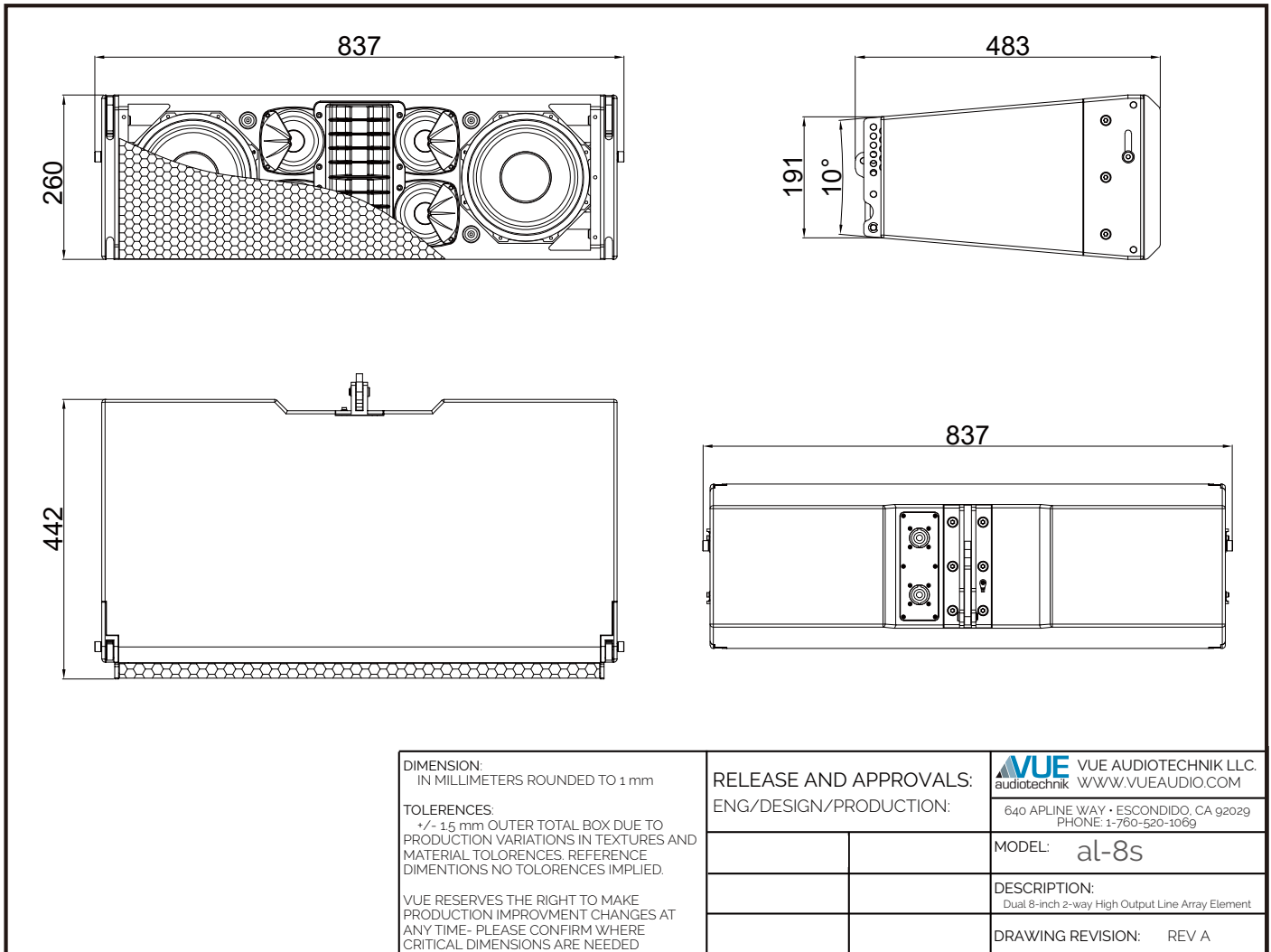
2UサイズのV6システムエンジンは、Chあたり2台のal-8sエレメントを3-wayで十分にドライブすることのできる2in/6outのディスクリット構成/パワーアンプです。

V6システムエンジンには、低域用に2500Wで2チャンネル中域と高域用に800Wで4チャンネルの専用アンプが搭載されています。(4Ωでの最大出力)

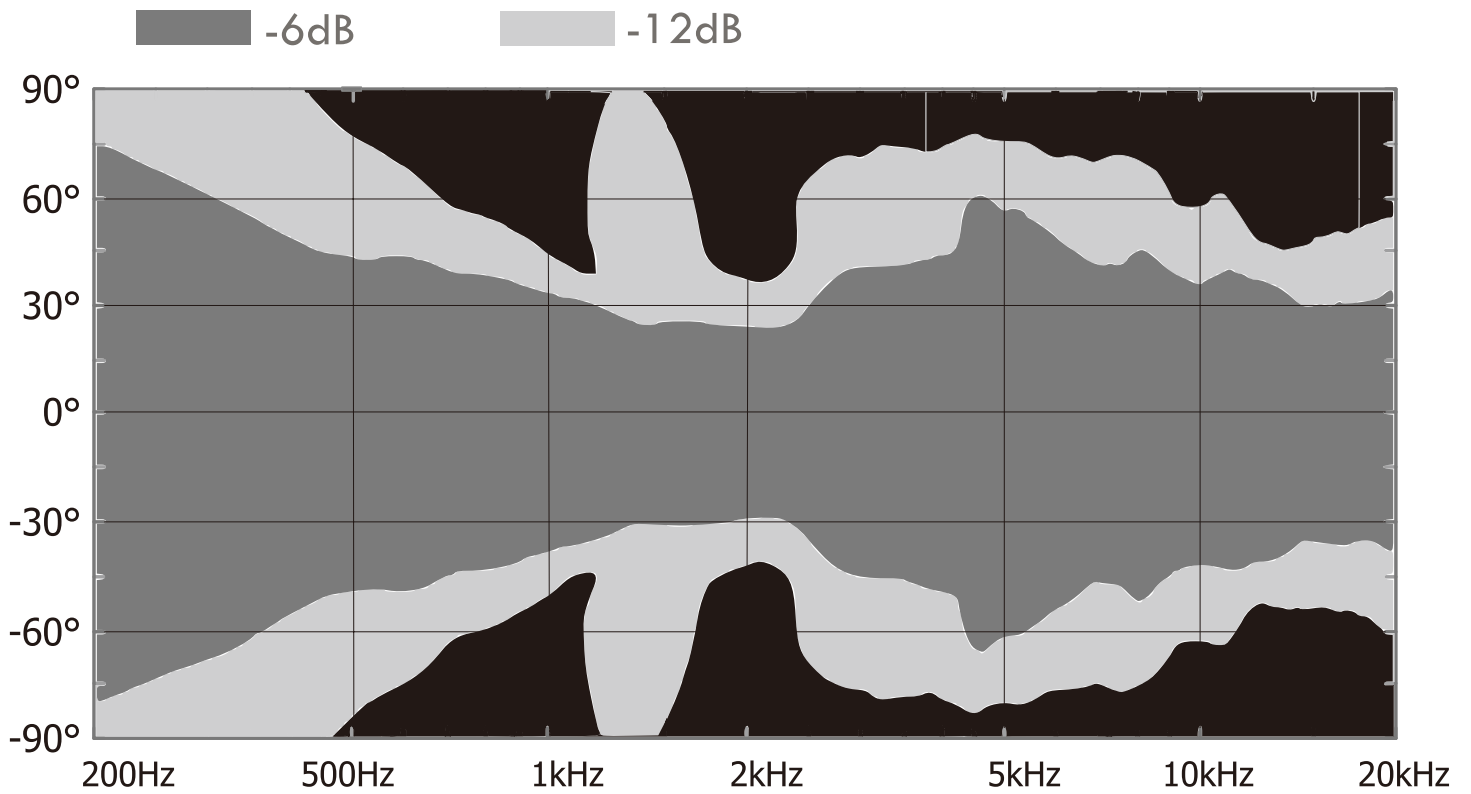
V6システムエンジンは、スピーカーマネジメント機能を備えたDSPを内蔵したアンプシステムです。リアパネルには、アナログのXLAとデジタルのAES/EBUの入力を持ち、スピーカー出力端子にはNL8コネクタを1組装備しています。

V6システムエンジンは、SystemVUEソフトウェアを介してのネットワーク制御機能との連携をも可能にしています。

al-8s 寸法図



水平方向拡散MAP



水平方向拡散

VUE al-Class | al-8s